

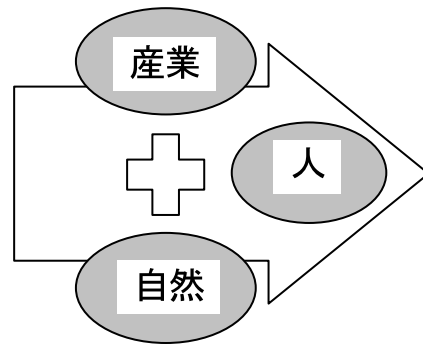
響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成基本構想・概要

1 構想の基本理念

産業と自然との調和
～産業、人、自然がひびきあう緑の回廊づくり～

産業用地としての埋立地

- ・産業都市としての本市の将来を支える地区
- ・渡り鳥の中継ポイント
- ・一部にトンボやメダカが生息する蘇った自然



産業・自然・人が関わり合いながら自然の創成

- ・野鳥などの自然の宝庫
- ・市民の憩い楽しみ場
- ・新たな産業の進出が進む緑に囲まれた豊かな立地環境

2 構想の柱

◇基本理念◇
産業と自然との調和

多様な自然環境づくり

緑が少なく広大な空間が広がる響灘地区に、市民や企業の協力を得て「緑の回廊」を創成し、多様な自然環境・生態系をつくりだす。

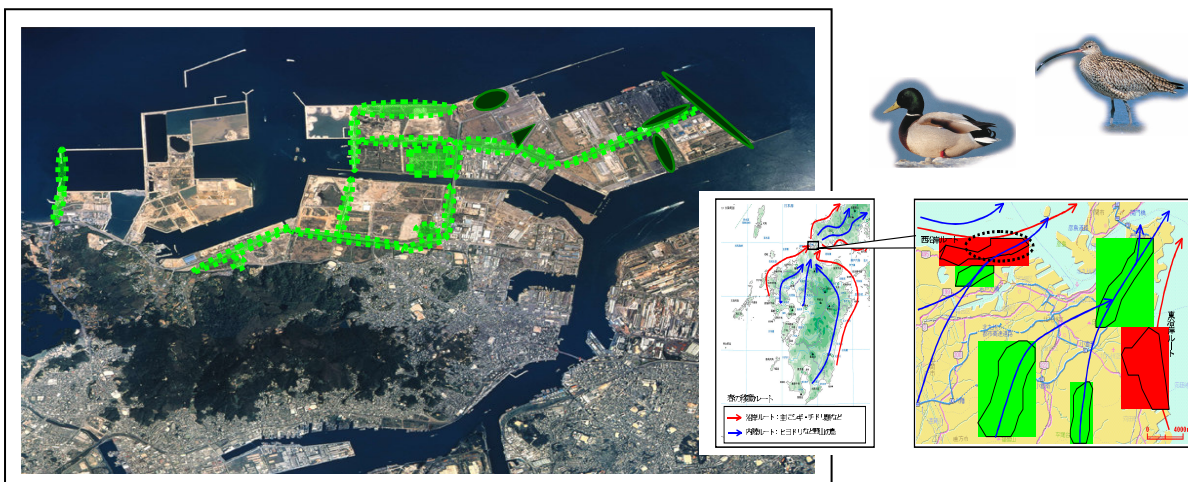
人が集まり、憩い、楽しみ、学ぶ場づくり

自然環境や生活環境などに関して、多くの人が集まり憩い楽しみながら学ぶ場をつくり、訪れた人が「真の豊かさ」を感じ、自ら環境のために行動をはじめめる機会となることを目指す。

産業が進出する地区づくり

緑のなかに工場等が存在し、産業と自然が一体となった魅力あふれる産業集積地区づくりを目指す。これにより、新たな企業進出を促すとともに立地企業のイメージアップを図っていく。

3 構想の概要・イメージ図



4 構想の主な取り組み

【ハード整備】

◆「緑の回廊」づくり

市民や企業の協力を得て、石峰山から響灘安瀬緑地につながる緑の軸線（公園や道路沿線の緑地）を整備する。整備された緑地は、工業団地特例の手続きを経て、工場立地法上の緑地としてカウントされ、企業の進出を進めることができる。

◆D地区緑地整備

構想全体の中核的な事業として、自然の創生の考えにより、拠点となる緑地整備を行う。

【ソフト事業】

◆「響・どんぐり銀行」による苗木提供

「緑の回廊づくり」を進めるため、市民、企業、行政が協力して、どんぐり等の種まきからはじめる苗木を育てる仕組み「響・どんぐり銀行」を組織して、苗木の提供を行なう。

◆市民・企業による「緑の連絡会議」

市民、NPO、地権者企業、立地企業、市からなる「緑の連絡会議」を組織し、「緑の回廊づくり」などに関して意見交換や調整を行い、長期にわたる構想の円滑な推進に努める。

5 構想推進の仕組み

